

第17回「すなっく(^o^)」WG 議事録

【開催概要】

- ・開催日時：2016年12月7日（水）19時30分から
- ・開催場所：ふれあい歯科ごとうにて
- ・参加メンバー：後藤さん、登世子先生、志垣先生、板垣先生、福田さん（ヘルシーフード）、高瀬
- ・付帯資料：今回料理対決のアンケート、レポート、画像など

【主な議題】

1. 第4回の料理対決の振り返り、情報発信
2. 次回以降のすなっくの展開（次回の料理企画や、地域の食支援など）

【議事内容】

（次ページ以降に掲載）

【次回予定】

- ・次回のすなっくミーティングは2017年1月25日（水）19時半～予定
- ・次回の介護食の料理対決は その後、具体的な日時・場所、内容を検討予定

「すなっく(^o^)」ミーティング 議事録

1. 第4回の料理対決の振り返り、情報発信

- ・料理対決の振り返り（自由に意見など）
《全体の進行や概要》
- ・全体の進行として想定していたスケジュール通りに進み、内容もミニ講座から始まって、各社のプレゼン・調理など、情報コンテンツとして充実していた
- ・3者のプレゼン・調理も、それぞれの特長や良さが出ており、評価する部分でも拮抗していた。
- ・その一方、内容が良かったので、もう少し在宅の家族・患者さん、関わる専門職の人にも来てもらいたかった。

《費用面について》

- ・今回は参加者が少なかったため、一人1000円の参加費合計が少なく、会場の協力費用として払う謝礼分で若干の赤字になった（不足分はこれまでの留保金でカバー済み）

- ・今後の開催を考えると、集客して参加者を増やすことや、会場費を3時間で6000円ほどに減らすことなど、調整が必要
- ・ただしこれらは収益事業ではなく、あくまで食支援のために個人・グループのスキルを上げながら、在宅に広める取り組みなので、収益だけを優先ではない

《各パート内容》

- ・事前のミニ講座：腎臓病の栄養管理は、専門職でもあまり知られていない内容だったので、病態から栄養管理、専用の介護食品など、知ることによって参考になった（ごはんでたんぱく調整することや、キノコ類、野菜、油の多い魚を使って満足感を出す、1/25のごはん、麺類を活用した料理など、)
 - ・各プレゼン：今回はインタビュアーとカメラマン2名体制で、3者のプレイヤーの紹介からメニュー、特長点などを、聞き取り式で撮って行けたので、話も撮影もスムーズにいった
 - ・撮影も動画と静止画を組み合わせて、2人で分担して撮っていったので、偏りやモレが少なく、必要な場面を抑えられた
 - ・評価：今回は審査員を立てず、参加者全員で評価を出し、個別にコメントを述べていく方法が良かった
 - ・オブザーバー：腎臓病のWEBサイトの方や、関わる専門職の方に同席してもらい、意見や今後の協力案など、話せたのが良かった
 - ・会場：ふぁみりーさんの会場・設備や坪山さんのお手伝いは非常に助かるが、今後はなるべく負担を減らす、もしくは他の形で貢献できるようにしていきたい
- これらの良かった内容や進行については、次回以降も継続すべき
- さらに、これらのコンテンツや動画などを用いて、より広く情報発信していくべき

《情報発信》

- ・今回の料理対決の記録として、画像・動画、レシピ、アンケート、レポートなどは、これまでの回と同様にまとまりつつある
 - ・ただしレシピやレポートだけではクックパッドのように、アウトプットやサマリーになってしまい、調理の部分での工夫点や、病態向けにどんな風に栄養管理や食材を考えていくかが伝わりにくい
- （ごはんでたんぱく調整することや、キノコ類、野菜、油の多い魚を使って満足感を出す、1/25のごはん、麺類を活用した料理など、)
- ・レポートやレシピについては、広めるリリース情報として案内し、興味を持った人が新食研のWEBサイトに来て詳しく説明もしくは詳細リンクへ見られるように、リリースとランディングに分けた情報展開が必要かもしれない
- レポートにまとめた上で、新食研HP委員会などでも情報発信を検討する

2次回以降のすなっくの展開（次回の料理企画や、地域の食支援など）

アイデアや議論が挙がった上で、すぐに日程やテーマを決めて次の料理対決に動くのではなく、食支援が必要な方のヒアリングをしてから、次回の内容を検討する

《次回のアイデアとして挙がった意見》

・すなっくの集まりに来てもらうのではなく、こちらから外部に出張して、食支援の相談や説明、試食提供などをする（出張先の案：患者会・家族会、とつカフェ、暮らしの保健室、アラジンなど）

・病態向けの介護食品を提供しているメーカーと連携して、製品の詳しい情報提供や物品提供など

・腎臓病の医療費削減に力を入れている行政や栄養士の団体と連携して、共同でイベントを開催するなど

・情報コンテンツとして、今回のような、病態向けに知って得するミニ講座や専用品の紹介、調理の工夫を見せる

・在宅で困っている人、悩み相談を受け付けて、専門家数名がそれぞれの立場からアドバイスやケース例を紹介する（企画の案：行列のできる法律相談所）

・3者での料理対決にこだわらず、ミニ講座をしてから相談や意見交換、おすすめの調理や試食など（企画の案：ためしてガッテンに近く、参加した人にもガッテンとアクションしやすい）

《次回の方針として挙がった意見》

・今回は糖尿から腎臓病と病態食で続いてきたが、腎臓病だけでも初めて知った情報や、普段意識してなかった情報、専用品の商品や調理の工夫点などが多く、次回も同じ領域でもう少し、コンテンツを整理して深堀することが良い

・その上で、腎臓病の方を対象に、一番困っていることやこういうもの・情報があれば良いといった、ネックやニーズをヒアリングしてから、次回の企画を検討していく

→次回のWGまでに、担当する利用者・家族、患者会へのヒアリングや、WEBサイトやコールセンターへ寄せられた意見などを、集めたい

【別紙】にヒアリングシートの草案を掲載